



一般財団法人アーネスト育成財団
(Earnest Upbringing Foundation)

技術経営人財の育成に取組む公益性のある財団を目指す

令和4年(2022年)1月開校

西河技術経営塾(代々木校)9期生募集

実践経営スクール

主催：一般財団法人アーネスト育成財団

変革をつくる「技術経営学」を学び、
豊かな社会づくりに取組むことができる技術経営人財を養成する。
地方の企業を元気にする。

西河技術経営塾での学びと成果

1. 日本的技術経営研究の成果を学ぶ。
2. お金は企業の血液であることを学ぶ。
3. 売上を10倍にする西河技術経営学を学び、雇用を増やし、税金を払う。
4. 実践的思考、変革的思考を受講生参加型で育成する。
5. 誠実な経営人財を育成する。
6. 経営者を目指す管理者が学び、学んだことをすぐ経営に生かす。

● 講義概要

講義と演習を組み合わせ、実践的参加型学習に取り組む

本講座は『西河「技術経営学」入門(芙蓉書房)』を教材に使用します。技術経営学を学習し、実務で生かすことが出来るよう演習に取り組めます。技術経営を概括すると、エンジニアリング(技術)が経営の中心にあり、その周囲に「企業観」「ビジネスモデル」「市場創出」「中長期計画」の4つの経営課題があります。

経営を支えている技術の存在を学ぶことで、未来を見据えた戦略的経営に取り組むことが出来るようになります。技術経営学は、会社の未来を切り開く未来学です。コトづくりでもモノづくりでも、エンジニアリングが経営を支えています。エンジニアリングは、経営を支える具現力であります。企業理念、ビジネスモデル、中長期計画、市場創出は、エンジニアリングと関わり合いを持つことで機能しています。

「日本型経営」「デジタル化への対応」「中小企業から大企業へと成長」「ものごとを学ぶ」「グローバル経営」「リーダーシップ」「エンジニアリング・ブランド」などを学びます。

1. 期間：令和4年(2022年)1月～7月
2. 実施日：水曜日、原則毎週、24回開催(裏面に講座構成を示す)
3. 時間：(1)講義：午後6時00分～午後7時30分
(2)演習：午後7時40分～午後9時10分

経営人財を育成し、日本を元気にする

財団を作ろうと思ったのは「起業が少ない」、そのためには「経営ができる人財を育成しよう」「経営ができる人財を育成する機関が日本には見当たらない」という問題に気付いたからです。日本を元気にするには、質の高い経営人財を育成することです。収益をあげ、雇用を増やし、税金を沢山払える会社にすることです。収益を上げることができる技術経営人財の育成に取り組めます。今期の9期生から代々木校とし、群馬県沼田市で開塾する沼田校を姉妹校として位置づけ実務に役立つ「実践経営スクール」を講座構成を刷新して開校します。

(西河洋一塾長・理事長)

● 開講日、講義名称と演習課題(代々木校)

No	年月日(予定)	講座名称	講師	演習課題	
	2022年	<第1部 企業観>			
1	1月26日	水	開講式：開講にあたって	西河	
		水	(第1章) 技術経営とは何か	小平	自己紹介と会社案内
2	2月2日	水	(第2章) 企業文化とアイデンティティー	小平	塾で学びたいこと、現状の問題と課題
		<第2部 ビジネスモデル>			
3	2月9日	水	(第3章) ビジネスモデルづくりを学ぶ	小平	自社のビジネスモデルを報告する
4	2月16日	水	(第4章) 企業財務入門	小平	自社の技術的強みを報告する
5	3月2日	水	(第5章) モノづくりとコトづくり	小平	自社のビジネスモデルを分析する
6	3月9日	水	(第6章) 西河技術経営のルーツを学ぶ	西河	西河塾長の講義を受講して3問以上の質問を考える
		<第3部 市場創出>			
7	3月16日	水	(第7章) コストハーフ戦略	小平	自社の財務諸表を分析する
8	3月23日	水	(第8章) 新規の市場を創生する	山中	事業計画を報告する
9	4月6日	水	(第9章) サービスビジネス入門	山中	原価低減、経費削減策を報告する
10	4月13日	水	(第10章) 収益モデルに基づいた中長期戦略	小平	サービスイノベーション戦略を報告する
11	4月20日	水	(第11章) グローバル経営戦略	山中	中長期戦略を報告する
12	4月27日	水	(第12章) 中小企業のブランド構築戦略	小坂	自社のブランド戦略を報告する
13	5月11日	水	(第13章) ICTを利用したビジネスモデル	山中	新規の事業戦略を検討する
		<第4部 中長期計画>			
14	5月18日	水	(第14章) エンジニアリング・ブランドづくり	小坂	ICT戦略(即実行、次年度、中長期)
15	5月25日	水	(第15章) 中小企業のDX戦略	土山	自社または商品の広告を作成する
16	6月1日	水	(第16章) 海外を知る	浅野	エンジニアリング・ブランド戦略を立案する
17	6月8日	水	(第17章) 商品開発プロジェクトマネジメント	小平	グローバル経営戦略を報告する
18	6月15日	水	(第18章) 中小企業のERP戦略	土山	プログラミングに挑戦する
		<第5部 個別研究・成果報告>			
19	6月22日	水	(第19章) マネジメントとリーダーシップの違い	小平	ロボットの活用、自動化などの戦略を報告する
20	6月29日	水	(第20章) 報告書と論文の書き方	小平	研究報告書のテーマを決定する
21	7月6日	水	(第21章) 人材育成と設備投資	小平	研究報告書の概要レビュー
22	7月13日	水	(第22章) 会社を取り巻く法令と規則	小平	研究報告書の概要レビュー
23	7月20日	水	課題発表会：審査、	受講者	審査会：課題発表会
24	7月27日	水	修了式	受講者	修了式

● 講師

講師：西河洋一(にしかわ よういち) 芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科(MOT)修了、飯田グループホールディングス(株)代表取締役社長、(株)アーネストワン取締役会長、12年当財団理事長。一級建築士。

講師：小平和一朝(こだいら かずいちろう) 芝浦工業大学大学院工学研究科博士(後期)修了(博士(学術))、(株)イー・ブランド21代表取締役、当財団専務理事(現在)。敬愛大学経済学部特別講師。

司会・講師：山中隆敏(やまなか たかとし) 芝浦工業大学大学院工学研究科博士(後期)修了(博士(工学))、(株)メディカルパーフェクト代表取締役社長、CAMBODIA JAPAN INTERNATIONAL COLLEGE 学長、当財団理事。

講師：浅野昌宏(あさの まさひろ) 芝浦工業大学電子工学科卒、当財団理事、飯田グループホールディングス(株)社外取締役。一般社団法人アフリカ協会副理事長。

講師：土山真由美(つちやま まゆみ) 芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科修了。ハマゴム(株)技師。岩手大学大学院博士課程。

講師 小坂哲平(こさか てっぺい) 芝浦工業大学工学部土木工学科卒、小坂建設(株)代表取締役。一級土木施工管理技士、一級建築施工管理技士。財団評議員。

● 西河技術経営塾(代々木校)9期生募集(2022年1月～2022年7月)要領

- (1) 募集期間：2021年10月～2022年1月15日
- (2) 会場：財団内会議室(東京都渋谷区代々木1-57-2 ドルミ代々木704号)
- (3) 受講料：15万円(税抜き)(申込頂いたら、後日請求書をお送りします。宛先が会社の場合明記して下さい)
- (4) 募集定員：最大7名(定員になり次第〆切となります)
- (5) 応募資格：年齢 28～50歳程度、仕事に従事
- (6) 申込方法：氏名、年齢、性別、所属、職制、住所、電話番号など、Eメールを明記して、Eメール(office@eufd.org)またはFAX(03-6276-2424)にて、申込みをお願いします。